



株式会社 アークス

2021年10月18日

証券コード 9948

東証第1部、札幌

2022年2月期第2四半期 決算説明会



(株)アークスと(株)オータニの経営統合の記者会見
(2021年3月29日)



アークスグループ入りした(株)オータニの
フードオアシス宇都宮駅東店 (栃木県宇都宮市)



株式会社アークス

代表取締役社長 横山 清

2022年2月期 第2四半期 業績サマリー

2022年2月期 計画の進捗状況

1. 売上高の動向(既存店売上高前年比)
2. 売上高構成比(部門別)の動向
3. 販管費の動向
4. 2022年2月期 計画の進捗状況

株式会社アークス
取締役副社長執行役員
古川 公一

1. 売上高の動向(既存店売上高前年比)

客数 : 2Q以降、百貨店・飲食需要の取り込みなどにより
中核事業会社であるラルズの店舗を中心に前年比
プラスに転じた

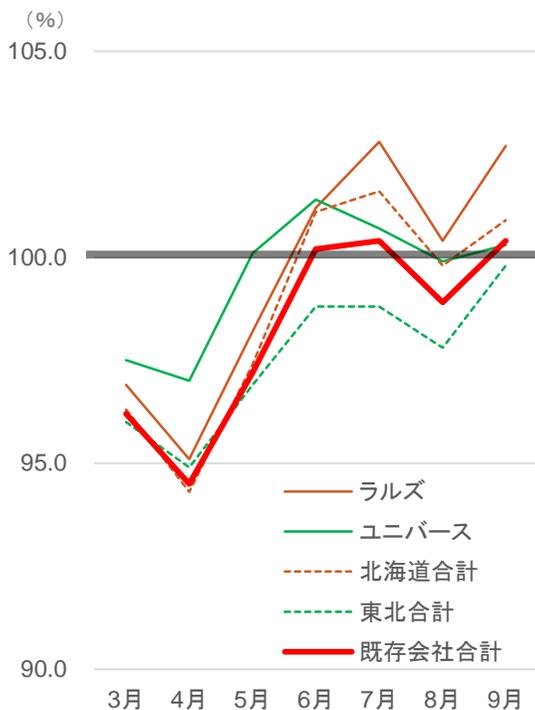
客単価 : 4月・5月は前年の反動がみられたものの、品揃え
及び価格政策の強化などにより、7月以降多くの店
舗で前年比プラスに転じた

特に都市部店舗が堅調

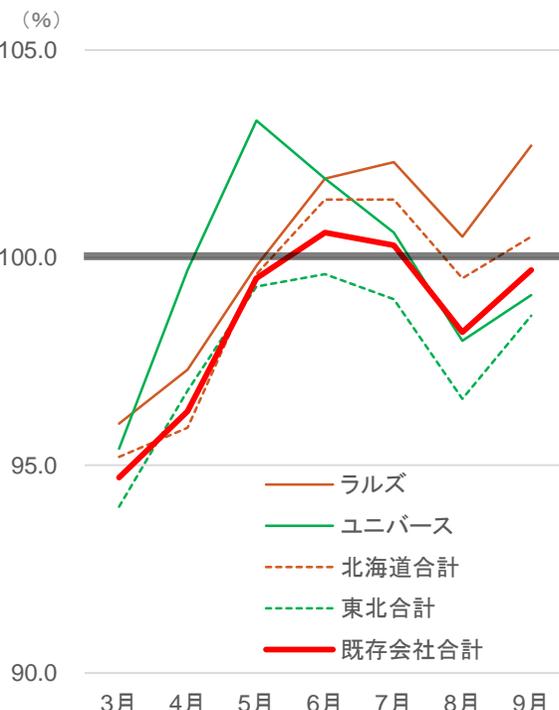
既存店売上高前年比(上期計)

都市部	98.9%	※都市部は、人口20万人超の都市店舗を指す
地方部	97.3%	
既存会社合計	97.9%	

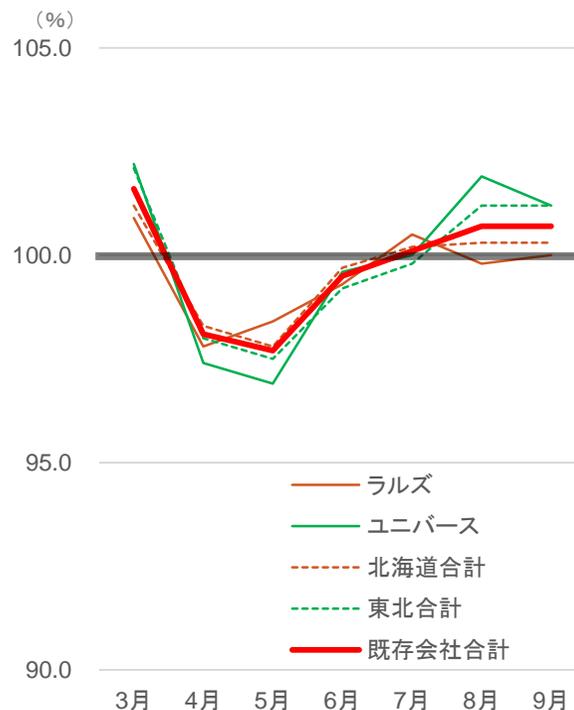
売上高



客数



客単価



2. 売上高構成比(部門別)の動向

※コロナ禍1年目の前年から2年目の当年はお客様の購買動向に変化

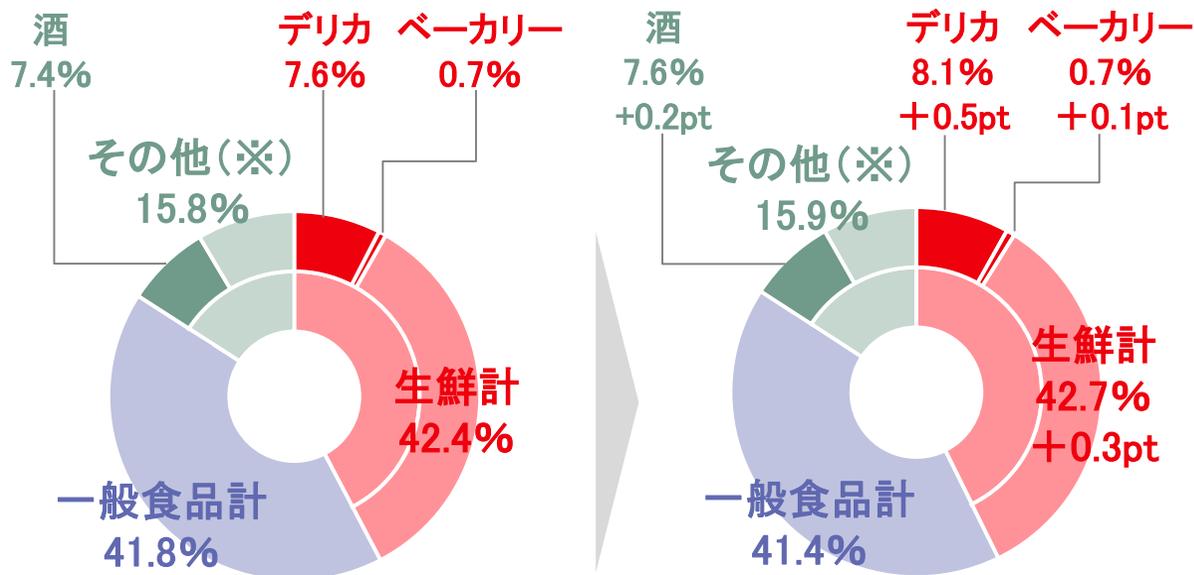
売上高構成比(部門別)

荒利益率が相対的に高い生鮮の売上高構成比が上昇

中でも、荒利率の高いデリカやベーカリーの構成比及び相乗積の上昇が寄与

2021年2月期 2Q累計

2022年2月期 2Q累計



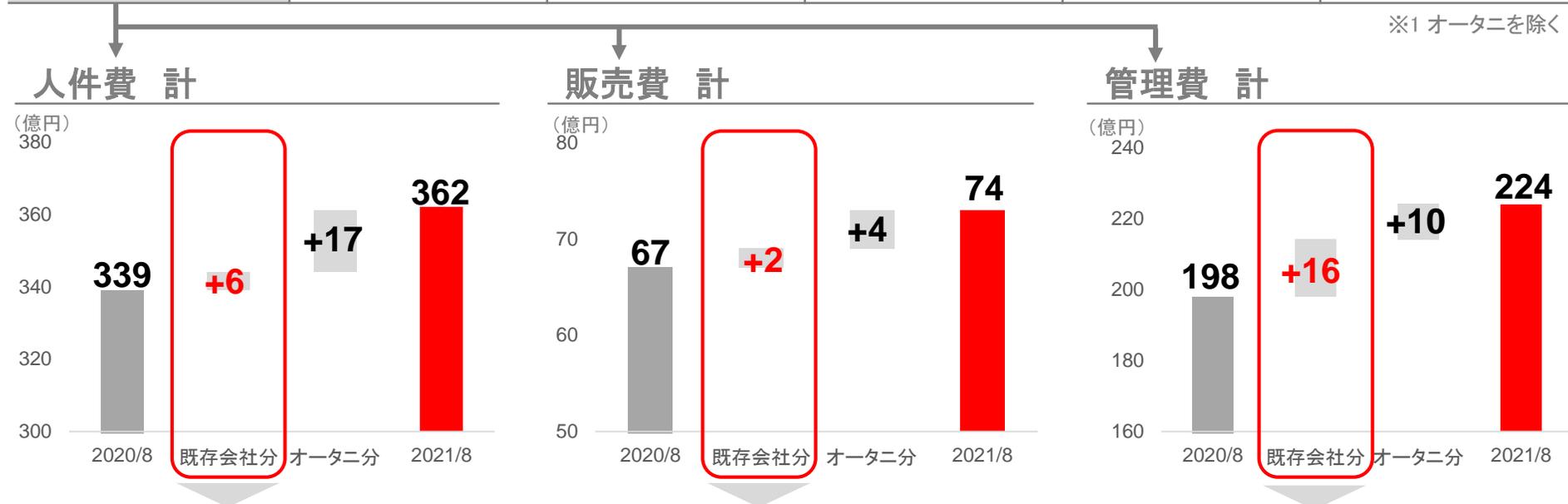
**荒利益以下、
各段階利益を底支え**

(※) オータニを除く既存会社合計の数値。「その他」は、衣料品、雑貨、酒、テナント、たばこ、商品券、ゴミ袋・シール、切手・はがき、レジ袋、手数料収入(宅配送料等)、他

3. 販管費の動向

(億円)	2020/8	2021/8	前年差	2021/8 既存会社分 ^{※1}	前年差 既存会社分 ^{※1}
販管費合計	604	659	+55	628	+24

※1 オータニを除く



【主な増加要因】

給料・手当の増加

+5億円

既存会社^{※2}の売上高給料・手当比率は前年差+0.3pt、前々年差±0.0pt

【主な増加要因】

折込チラシやポイントサービスなどを自粛した前年の反動

+2億円

既存会社^{※2}の売上高販売費比率は前年差+0.1pt、前々年差▲0.3pt

【主な増加要因】

減価償却費、修繕備品費等の設備投資関連費用等の増加

+7億円

前年度3Q以降の新店・改装店
 新店 1店(前年2Q累計比▲1店)
 改装 19店(前年2Q累計比+13店)

※2 2年前(前々年)との比較における既存会社は、オータニ、伊藤チェーンを除く

4. 2022年2月期 計画の進捗状況

Always Rising Community Service

前期実績 (2021年2月期) <small>(単位:億円)</small>		1Q	2Q	2Q累計	3Q	4Q	通期
	売上高		1,405	1,417	2,821	1,327	1,421
営業利益		58	45	104	31	43	177
経常利益		63	51	114	35	46	195

当期予算 (2022年2月期) <small>(単位:億円)</small>		1Q	2Q	2Q累計	3Q	4Q	通期
	売上高		1,431	1,449	2,880	1,387	1,453
前期実績比		101.9%	102.3%	102.1%	104.5%	102.2%	102.7%
営業利益		38	42	80	32	50	162
前期実績比		65.3%	91.9%	77.0%	102.7%	117.9%	91.3%
経常利益		42	46	88	36	56	180
前期実績比		66.7%	90.3%	77.3%	103.2%	121.1%	92.3%

当期実績 (2022年2月期) <small>(単位:億円)</small>		1Q	2Q	2Q累計	9月(単月)
	売上高		1,426	1,486	2,913
前年比		101.5%	104.9%	103.2%	105.9%
予算比		99.6%	102.6%	101.1%	101.3%
営業利益	▲15 →	43	▲4 →	84	10
前年比		72.8%	90.6%	80.6%	103.2%
予算比		111.4%	98.5%	104.7%	99.8%
経常利益		47	46	93	11
前年比		73.9%	90.3%	81.2%	103.7%
予算比		110.7%	100.0%	105.2%	105.9%

前期比の減益幅は縮小傾向 ▶ 各種取り組みによる着実な計画達成を目指す

アークスグループの取り組み

1. 取り巻く経営環境
2. アークスグループの取り組み

株式会社アークス

代表取締役社長 横山 清

1. 取り巻く経営環境

コロナ禍をきっかけに社会全体が大きく変化

社会生活の変化

価格

生活防衛意識の高まり

お客様の生活防衛意識の高まり

節約志向・低価格志向が一段と加速

IT

新しい生活様式の浸透

感染予防などを意識した
新たな生活スタイルへの見直し

デジタル技術などを取り入れた
新しい生活様式や働き方などが浸透

食品スーパーを取り巻く環境の変化

コスト

原材料価格の高騰

原材料価格の高騰に伴う
仕入価格の上昇圧力

更なるコスト削減努力の必要性

再編

業態を超えた業界再編の動き

経営環境の大きな変化

業態を超えた再編機運の高まり

2. アークスグループの取り組み(1)

時代の変化をとらえ、次世代のスーパーマーケット
がいかにあるべきかという課題に挑戦します

社会生活の変化

価格

生活防衛意識の高まり

価格訴求の強化

IT

新しい生活様式の浸透

デジタルトランス
フォーメーション(DX)の推進

アークスグループの取り組み

(株)ラルズ



(株)ユニバース



新基幹システムの
利活用促進

デジタル技術を用いた業務効率化

多様化するお客様
ニーズへの対応

2. アークスグループの取り組み(2)

食品スーパーを取り巻く環境の変化

コスト

原材料価格の高騰

物流コストを始めとする
徹底したコスト削減努力

再編

業態を超えた業界再編の動き

オータニのアークスグループ入り
によるハケ岳連峰経営の拡大

新日本スーパーマーケット同盟
の活動深化

アークスグループの取り組み



株式会社オータニ

※2021年4月14日、
アークスグループ入り



株式会社アークス

活動深化

valor Holdings

RETAIL PARTNERS

「普段」の生活をより豊かに
リテールパートナーズ

ご清聴ありがとうございました

